

2027年度

大学院学生募集要項

博士後期課程
(一般入学試験)

青山学院大学
大学院社会情報学研究科

社会情報学研究科及び入学試験情報の概要は、
青山学院大学の公式ウェブサイト (<https://www.aoyama.ac.jp/>) で紹介しています。

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人にとりて社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

個人情報の取り扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、①願書受付、
②入学試験実施、③合格発表、④入学手続きとこれに付随する業務を行うために利用し
ます。

青山学院大学大学院社会情報学研究科 教育研究上の目的

人材養成上の目的

社会情報学は社会科学と情報科学に立脚する新しい学問分野であり、単に現代の高度に情報化・グローバル化した社会における諸問題に対する的確かつ大局的視野を持ち合わせて活躍できる人材を養成して世に出すだけでなく、社会情報学とは何かを学問として徹底して探求していく人材を養成する場を用意しておくことは本学に課せられた社会的責任であるとの認識から、社会情報学専攻博士後期課程を置いている。

教育目標

本課程は、社会情報学分野において、研究者として自立して研究活動を行い、あるいは社会情報学と関係する学際分野において高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを教育目標としている。

教育課程

本課程は、教育目標を達成するために、研究指導の資格を有する専任教員が責任をもってその研究指導を通して博士論文の作成の指導にあたり、高水準な研究レベルを達成する。

修了要件は、本課程に3年以上在学し、必要な研究指導を受けた上、特別研究 (E)、特別研究 (F)、特別研究 (G)、特別研究 (H)、特別研究 (I)、特別研究 (J)、計12単位、および社会情報学研究法Aまたは社会情報学研究法B、計2単位を含む14単位以上を修得し、英語能力の認定合格、博士論文の審査及び最終修了試験（公聴会形式）に合格することとする。なお、本課程において優れた研究業績を上げたと認められた者の在学期間に関しては、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。ただし、本学および他の大学の大学院の博士前期課程(又は修士課程)、又は専門職大学院を1年で修了した者の在学期間に関しては、博士後期課程に2年以上在学しなければならない。

教育研究環境

社会情報学研究科は開かれた大学院として、本学あるいは他大学の博士前期課程(又は修士課程)、あるいは専門職大学院、あるいは職場で高い問題意識を有する職業人の入学を想定している。学生は、指導教官により相模原キャンパスあるいは青山キャンパスでの就学となる。

社会情報学研究科 博士後期課程 3つのポリシー

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

①知識・技能

- ・社会情報学または関連領域において高度な専門的研究を遂行できる知識・技能を身につけている。
- ・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題を適切に把握できる幅広い知識を身につけている。

②思考力・判断力・表現力

- ・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題の解決を多角的に検討することのできる複眼的な思考力・判断力を有している。
- ・学術研究について、専門を共有していない相手に対しても的確かつ分かりやすく説明することのできる表現力を有している。

③意欲・関心・態度

- ・研究テーマに直接関連する事象だけではなく、より広い社会の諸問題を視野に入れて学習・研究を進めることができる。
- ・研究倫理を遵守して研究に取り組むことができる。
- ・研究成果を広く社会に還元する意欲を持っている。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①知識・技能

- ・学生の研究進捗状況をふまえつつ社会情報学または関連領域において高度な研究成果を生み出すために必要となる知識・技能の獲得を促す研究指導科目を配置する。

②思考力・判断力・表現力

- ・自立的な研究者として必要な社会情報学および関連諸領域における研究の進め方や発表のノウハウを、先端的な研究を行っている研究者から学ぶことのできる授業科目を配置する。

③意欲・関心・態度

- ・研究倫理、社会貢献について具体的な事例も交えて実践的に学ぶことのできる授業科目を配置する。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

①知識・技能

- ・研究テーマに関連する博士前期課程修了（修士学位）相当の知識および技能を有している。

②思考力・判断力・表現力

- ・博士前期課程修了相当のレベルで、自律的な研究計画の立案、研究の実施、論文の執筆ができる。

③意欲・関心・態度

- ・研究テーマに直接関連する事象だけではなく、より広い現代社会の諸問題を視野に入れて研究を進めることの重要性を理解し、かつ自身の研究がどのように現代社会の諸問題に結びつきうるか具体的なイメージを持ち、研究する意欲を有している。
- ・自身の研究において配慮すべき倫理的な問題について具体的に把握できている。
- ・研究成果を国内外の学会および一般社会に公表していく強い意欲を有している。
- ・研究倫理を遵守して研究に取り組むことができる。
- ・研究成果を広く社会に還元する意欲を持っている。

他研究科および各専攻の教育研究上の目的やポリシーは、本学ウェブサイトにてご確認ください。

<https://www.aoyama.ac.jp/>

教員組織

大学院社会情報学研究科 研究科長： 長橋 透

社会情報学専攻博士後期課程

氏名の前の○印は 2027 年度入学者研究指導教員

※出願に伴い、必ず志願票に記載する希望指導教員と事前相談を行うこと (P. 15 参照)

事前相談の申込期限は第 1 期出願者は 2026 年 7 月 14 日、第 2 期出願者は 2026 年 12 月 1 日までとする。なお、大学院説明会での個別面談でも可とする。

	研究指導教員	専門分野	
教授	○ 飯島 泰裕	ICT ビジネスと情報政策、情報社会論	
	○ 石田 博之	エネルギー経済論、計量経済学、低炭素システム	
	○ 伊藤 一成	メディア情報処理	
	○ 伊藤 由樹子	日本経済論、経済統計	
		稲積 宏誠	大規模・複雑な情報からの知識発見、データマイニング
	○ 香川 秀太	教育心理学、コミュニティ組織学習論、状況的学習論	
	○ 清成 透子	実験社会科学、進化心理学、社会心理学	
	○ 高木 光太郎	発達心理学、法心理学、認知心理学	
	○ 寺尾 敦	認知科学、教育工学	
		長橋 透	経済学、経済政策論、産業組織論、観光経済論
		南部 和香	環境経済学、計量経済学 (キーワード: 廃棄物処理、リサイクル、国際資源循環)
	○ 伏屋 広隆	数理ファイナンス	
	○ 松澤 芳昭	情報システム学、ソフトウェア工学、学習科学	
	○ 皆木 健男	証券論、ファイナンス	
		宮治 裕	情報工学、ロボット工学、感性工学、人工知能
○ 村田 和義	ヒューマンインタフェース		

社会情報学研究科 博士後期課程

学 位

本大学院において授与する博士の学位は次の通りです。

社会情報学研究科社会情報学専攻 博士後期課程 博士（学術）

募集人員

社会情報学専攻博士後期課程 3名
（研究指導教員により、相模原キャンパスあるいは青山キャンパスでの就学となります。）

出願資格

以下の1.～5.のいずれかに該当するもの。

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2027年3月取得見込みの者
2. 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2027年3月取得見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 日本において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月取得見込みの者
5. 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に24歳に達した者

なお、出願資格5.に該当する者の入学資格審査は、次の①または②を参考に行います。

- ①大学を卒業し、または外国における学校で16年の課程を修了した後、研究を志望する分野で2年以上の経験と、十分な業績を有する者。
- ②著書、学術論文、学術講演、学術報告および特許等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者。

※出願にあたっての注意事項

必ず希望する研究指導教員と事前相談を行い、志願票に署名・捺印をもらうこと。（希望指導教員の自署・捺印が無い場合は出願無効となります。）ただし、教員と直接のやりとりが困難である場合には、特別に希望指導教員の承認がわかるもの（教員とやり取りのメール文をプリントアウトしたものなど）を出願書類に同封すれば、教員の署名・押印は特別になくてよいものとします。

入学資格審査

出願資格 5. により出願しようとする者は、出願書類を提出する前に入学資格認定のための審査を受ける必要があります。この場合、事前に社会情報学研究科担当 (Mail:in-gssi@gmail.com) に連絡し、次の書類を提出してください。

入学資格審査申請期間： **第1期 2026年7月1日(水) 必着**
第2期 2026年11月20日(金) 必着

提出書類： (1)入学志願票(本学所定用紙)
(2)最終学歴の成績証明書
(3)最終学歴の卒業証明書あるいは在籍証明書
(4)入学資格審査申請書(様式は任意)
学習歴・実務経験・研究歴等を記載し、資料を添付してください。

※提出書類は必ず簡易書留・速達郵便とし、入学資格審査書類在中と朱書きしてください。

※(1)～(3)については、入学資格審査認定後、出願書類として取り扱いますので、出願時に再提出する必要はありません。

※「出願用封筒表紙」を使用する必要はありません。

出願書類 *P.14 注意事項1 参照

1. 入学志願票(本学所定用紙)

2. 最終出身大学院の修了(見込)証明書、成績証明書

※本学大学院出身者の証明書は学務課で代理発行するため、提出不要です。

※最終出身大学院に編入学した者は編入学以前の証明書も提出してください。

※提出方法について、出身大学発行の修了(見込)証明書及び成績証明書だけでなく、CHSI発行の認証書の提出も認めます。出願書類には印刷した認証書を同封し、かつ電子データの認証書が出願期間内にCHSIから社会情報学研究科メールアドレスへ期間内に電子メールで直送されるよう、手配してください。印刷した認証書のみの提出や、志願者等による電子メールの転送は出願書類として認められません。

(社会情報学研究科:in-gssi@aoyamagakuin.jp)

3. 写真1枚(脱帽上半身、背景なし、ﾀﾞｲ 4cm×ｺﾞｺ 3cm、カラー写真、最近3ヵ月以内撮影)

入学志願票の所定欄に貼付)

※当該写真は、入学手続き時に、出願時と同一の写真データ(jpg または png 形式)をアップロードしていただきます。そのため、写真のデータ版もあらかじめ取得・保管しておいてください。

4. 外国籍者は在留カード(外国人登録証明書)又はパスポートのコピー

※日本語を母語としない者は、日本語能力試験(N1)の「合格結果通知書」または「認定結果及び成績に関する証明書」の原本)も併せて提出してください。

5. 入学検定料の収納証明書

※クレジットもしくはコンビニで入学検定料を振り込んだ際に受け取った収納証明書を、収納証明書貼付用紙(本学所定用紙)に貼り付けて提出してください。金額が訂正されたものは無効です。

6. 研究計画書

入学後の研究計画を、A4版、横書き、4000字程度で作成してください(タイピング推奨)。

必ず記名してください。また、複数枚に渡る場合はそのすべてに記名をしてください。

※出願に際し、希望する研究指導教員と事前に研究計画について相談しておくこと

7. 修士論文 又は これに代わる研究業績を示す論文 (3 部提出)

但し、修士課程および博士前期課程を本年度修了見込みの者については、第 1 期で出願する場合は論文の概要 (800 字程度) でも可。(3 部提出)

8. 受験票送付用【封筒 1 通 **※封筒種類に注意 長形 3 号封筒 (120 mm×235 mm)**】

※必ずボールペンで**住所・氏名を明記**のうえ、**110 円切手を貼付**してください。

9. 宛先ラベル ※合格した場合の書類送付先を正確に、見やすくご記入ください。

入学検定料

35,000円

支 払 方 法

1. コンビニエンスストアまたはクレジットカードでのお支払
P. 12「コンビニ端末での入学検定料支払方法」または
P. 13「クレジットカードでの入学検定料支払方法」を参照のうえ、お支払いください。
2. 出願受付後、入学検定料は原則返還いたしません。

出願手続および期間

出願はすべて郵送受付とします。

第1期

〔受付期間〕

2026年7月28日（火）～7月30日（木）

出願書類一式を角形2号封筒（240×332mm）に入れ、簡易書留・速達で郵送してください。郵送の際は、封筒の表に必要事項を記入した所定の出願用封筒表紙を貼り付けてください。

〔注意事項〕

1. 消印有効です。受付期間を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
2. 必ず簡易書留・速達とし、出願書類一式を同封のうえ送付してください。受験票は、本人宛に郵送します。ただし、受付事務・郵便事情等により返送が多少遅れることがあります。試験日の3日前までに届かない場合には、学務課（042-759-6072）までお問合せください。
3. 一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。
4. 出願用封筒表紙は、カラーで印刷してください。白黒印刷の場合は上部「速達」部分を赤線で囲ってください。

第2期

〔受付期間〕

2026年12月15日（火）～12月17日（木）

出願書類一式を角形2号封筒（240×332mm）に入れ、簡易書留・速達で郵送してください。郵送の際は、封筒の表に必要事項を記入した所定の出願用封筒表紙を貼り付けてください。

〔注意事項〕

1. 消印有効です。受付期間を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
2. 必ず簡易書留・速達とし、出願書類一式を同封のうえ送付してください。受験票は、本人宛に郵送します。ただし、受付事務・郵便事情等により返送が多少遅れることがあります。試験日の3日前までに届かない場合には、学務課（042-759-6072）までお問合せください。
3. 一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。
4. 出願用封筒表紙は、カラーで印刷してください。白黒印刷の場合は上部「速達」部分を赤線で囲ってください。

〔送付先〕 ※出願時には所定の出願用封筒表紙を使用してください。

青山学院大学 相模原事務部 学務課 社会情報学研究科担当 行
〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1 TEL 042-759-6072 (ダイヤル)

入学試験日

第1期 2026年9月5日（土）

第2期 2027年1月23日（土）

※今後の世の中の状況（感染症等）につき、日程が変更になる可能性があります。

入学試験場

試験は、青山学院大学 青山キャンパスもしくは相模原キャンパス※ で実施します。
なお、試験教室等の詳細は、出願後にお知らせします。

※今後の世の中の状況（感染症等）につき、変更になる可能性もあります

試験科目および試験時間

入学試験の試験科目は、「口述試験」です。なお、選考にはさらに「書類審査」が加わります。

試験時間は、第1期、第2期ともに以下の通り（予定）です。

口述試験 : 13:00 ～ ※書類審査を含む

合格発表(WEB)

合格発表を以下の通り、本学 WEB サイトにて行います。

第1期 **2026年9月11日（金）** **発表**

第2期 **2027年2月12日（金）** **発表**

*合否判定の方法及び基準

提出書類、口述試験により、アドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、合否を判定します。

合格者のみ、入学手続書類をお送りいたします。宛先は出願時に提出いただく宛先ラベル記載箇所となりますので、間違いのないように正確に記載してください。

WEB 合格発表から 5 日経ち、合格者一覧に記載があるにも関わらず書類が届かない場合は、学務課 社会情報学研究科担当に問合せてください。

「入学手続書類」の不着、遅配等の事故を理由とした入学手続期間の延長は認めません。

※合格発表は以下本学公式サイトで行います。必ず受験結果の合否をご確認ください。

大学院入学試験等に関するお知らせ | 青山学院大学 (aoyama.ac.jp)

<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html>

入学手続

合格者には、入学手続書類を郵送いたします。所定の期間内に手続書類を郵送して入学手続を完了してください。入学手続に関する詳細は、郵送する「入学手続要項」でご確認ください。

なお、期間中に手続きをしない者は入学を辞退したものと見なします。

「入学手続書類」の不着、遅配等の事故を理由とした入学手続期間の延長は認めません。

第1期 第1次入学手続締切日： **2026年11月4日（水）**

 第2次入学手続締切日： **2027年3月1日（月）**

消印有効です。締切日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
必ず簡易書留郵便とし、手続書類一式を同封のうえ送付してください。

第2期 入学手続締切日： **2027年3月1日（月）**

消印有効です。締切日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
必ず簡易書留郵便とし、手続書類一式を同封のうえ送付してください。

コンビニ端末での入学検定料支払方法


下記のコンビニ端末にてお支払いください

1
お申込み


セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育


↓

入学検定料等支払


LAWSON Loppi **MINISTOP Loppi**

<https://www.lawson.co.jp> <https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

↓

学び・教育・各種検定試験

↓

大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2
お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

②お支払い後、**チケットとレシート**の2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。

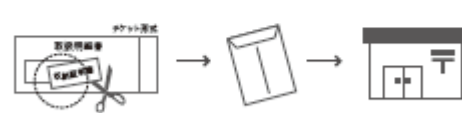
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。

*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	605円
	入学検定料が5万円以上	825円

3
出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の「**収納証明書**」部分を切り取り、入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある紙は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【操作などのお問い合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

クレジットカードでの入学検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して入学検定料のお支払いが可能です。 VISA      



PCで下記にアクセス

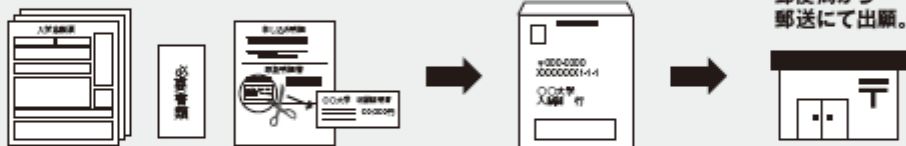
<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

インターネット申込
クレジットカード決済

1. トップページ	「申し込む」ボタンをクリック
2. 研究科選択	研究科を選択してください。
3. 入試選択	受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック
4. 留意事項	留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック
5. 基本情報入力	申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック
6. 申込内容確認	申込された情報を確認し、問題なければ「申込みする」ボタンをクリック
7. 受付番号確認	受付番号(12桁)を控え、「引き続き支払う」ボタンをクリック (登録されたメールアドレスにも通知されます。)
8. クレジットカード情報入力	支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「次へ」をクリック *お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。
9. 決済完了	完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。 *メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「登録時のメールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

出願

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 入学検定料の他に、払込手数料(税込)が別途かかります。
払込手数料(税込):30,000円未満…手数料 664円、30,000円以上50,000円未満…手数料 1,041円、50,000円…手数料 1,163円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「登録時のメールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された入学検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの入学検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧頂き、「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

注意事項

1. 志願者自身が作成した文章を提出してください。人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出を禁じます。
2. 二重学籍等
本学学生は、他大学大学院及び本学の他研究科または他専攻、並びに他大学及び本学の学部と併せて在学することはできません。また、他大学大学院を修了または修了見込の者は、成績証明書及び修了証明書または修了見込証明書を提出のこと。
3. 一旦受け付けた書類、入学検定料は一切返還しません。
4. 受験票を紛失した場合は、速やかに学務課(042-759-6072)に電話して、指示に従ってください。試験当日に身分証明書を必ず持参してください。
5. 受験者は試験当日、受験票とともにお送りする案内で受験教室や伝達事項を必ず確認してください。なお、受験中は常に受験票を机の上に置いてください。
6. 試験開始5分前までに試験場に入室してください。教室は受験票郵送時にお知らせいたします。
7. 試験開始から20分以上遅刻した者は、受験資格を失います。
8. 障がいや疾病、怪我などにより受験及び修学上の合理的配慮が必要な場合、「障がいのある学生の受入れ方針」に基づき、受験時に合理的配慮を提供します。合理的配慮を希望する方は、出願期間前に学務課社会情報学研究科担当に問い合わせてください。なお、場合によっては健康診断書の提出を求めることがあります。
9. 携帯電話等の電子機器類は、特別に認められた場合を除き試験場内では使用を禁止します。
10. 問い合わせ先は次のとおりです。但し、可否に関しては一切応じられません。
(出願・受験・入学手続に関する内容) 相模原事務部学務課社会情報学研究科担当
TEL 042-759-6072 (ダイヤル)
11. 出願資格1. に該当するもののうち「2027年3月修了見込みの者」で合格し、入学手続を完了していても、2027年3月までに修士の学位または専門職学位を授与されない場合は、入学を許可しません。
12. 各種資格(司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員)の取得に関する内容での不明な点については、出願前に学務課教職課程担当[042-759-6032 (ダイヤル)]に問い合わせてください。
13. 入学手続の詳細は「入学手続要項」を参照してください。下記は概略です。

第1次入学手続時

- ・誓約書(本学所定用紙)
- ・住民票または住民票記載事項証明書(外国籍の者は在留カード(外国人登録証明書)またはパスポートのコピー)
(最近3ヶ月以内発行のもの)
- ・振込通知書(第1次入学手続用本学所定用紙)(銀行の収納印の押された大学院提出用)
- ・宛先記入ラベル2枚(本学所定用紙)(第2次手続書類郵送用)(学年初頭案内等郵送用)

第2次入学手続時

- ・写真1枚(縦4cm×横3cm枠なし、カラー写真)(学生証作成用)
 - ・学籍資料票(本学所定用紙)
 - ・学生通学住所登録用紙(本学所定用紙)
 - ・振込通知書(第2次入学手続用本学所定用紙)(銀行の収納印の押された大学院提出用)
- ※第2期合格者は、まとめて上記の入学手続書類が必要です。

14. 大学院入学試験に関する情報は本学ウェブサイト下記URLでお知らせします。
<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/>

社会情報学研究科受験に際する事前相談について

社会情報学研究科の募集においては、本研究科の幅広い専門性のため、受験してくださる皆さんの本来やりたい研究や研究をやるうと考えている前提条件などが提出していただく書類だけでは、十二分に伝わりづらいことがあります。

つきましては、受験をご検討の皆さまにおかれましては、希望指導教員との事前相談を推奨いたします。事前相談では、受験の意図、様々な研究活動の可能性、研究科の指導内容や指導体制のマッチングについて、ご相談いただけます。充実した研究や学習を大学院生活で行えるように、ぜひ積極的に事前相談を受けられることをお勧めします。

また出願にあたっては、希望指導教員との事前相談を必須としています（大学院説明会での個別面談も可）。ご自身の研究テーマや計画が指導分野と合致しているか、必ず事前に確認を行ってください。

なお、事前相談は合否に関係ありません。

<相談方法>

次のいずれかを選択し、メールで以下連絡先までお申込みください。

(1)研究科全般に関する事前相談 ※直ちに受験を予定していない場合はこちら（随時申込可）

(2)出願に伴う事前相談 ※当該年度受験予定者はこちら（注意事項参照）

お申込みの際には、次の情報をメールの件名・本文に記載してください。なお、(2)を選択の場合は必ず全項目記載が必要です。

【件名】社会情報学研究科 研究科全般に関する もしくは 出願に伴う 事前相談希望

【本文】①氏名(フリガナ)

②学位の有無 ※有の場合は種別(学士・修士 等)と出身大学を記載

③現在のご所属(通学先・勤務先等)

④希望指導教員名 ※(1)を選択し、未定の場合は不要

⑤受験予定の入試種別、時期(第1期もしくは第2期) ※(1)を選択し、未定の場合は不要

⑥進学後の研究テーマ・研究計画(概要)

【連絡先】

博士前期課程

社会情報学(SI)コース

in-gssi@aoyamagakuin.jp

ヒューマンイノベーション(HI)コース

hi-info@si.aoyama.ac.jp

博士後期課程

in-gssi@aoyamagakuin.jp

<注意事項>

- ・全入試種別において、出願される方は志願票に記載する希望指導教員との事前相談を必ず行ってください。
- ・出願に伴う事前相談は当該年度の4月1日よりお申込み可能です。申込期限は出願予定年度の募集要項を必ずご確認ください。期限後は受付致しかねますので、余裕をもってお申し込みください。
- ・募集要項は毎年6月より順次公開予定です。希望可能な指導教員を募集要項にて必ずご確認ください。

さい。教員の就任・退任等、やむをえない事情で前年度実施入試時点から変更となる可能性がありますのでご了承ください。

- ・事務窓口停止日についてはお取り扱いができませんので、ご注意ください。

<窓口停止日：土・日・祝および指定日※以下ホームページでご確認ください>

休業及び入試期間中の事務取扱時間・閉室情報(スチューデントセンター) | 青山学院 大学
(aoyama.ac.jp) <<https://www.aoyama.ac.jp/life/schedule/contact>>

- ・メール送信後、休祝日を除く 3 営業日以内に返信がない場合にはメールの再送、もしくはお電話 (042-759-6072)にてご連絡ください。

以上

学校保健法で出席の停止が定められている感染症における 入学試験の取扱いについて

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。

但し、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

学費等納入額の内訳について

2026年度入学者用を参考として記載します。2027年度入学者の学費等詳細については、合格発送に同封する入学手続要項に記載します。

学費等納入額内訳（2026年度入学者参考）

費目	金額	備考
学 費	入学金	※290,000円 (ただし、本学出身者は0円) ①
	授業料	217,500円 年額435,000円
	在籍基本料	40,000円 年額80,000円
	施設設備料	37,500円 年額75,000円 ②
	教育活動料	50,000円 年額100,000円
	小計	635,000円
諸 会 費	後援会費	2,500円 年額5,000円
	◎ 校友会費	30,000円 入学時のみ(ただし、本学出身者は納入不要) ③
	学会費	2,500円 年額5,000円
	小計	35,000円
入学時納入金合計	670,000円 (ただし、本学出身者は350,000円)	
初年度納入金合計	1,020,000円	

(消費税は課税されません)

◎印の校友会費は、退学、除籍の場合には、校友会本部事務局に申請し返還をうけることができます。

備 考

1. 第1次入学手続・第2次入学手続の納入金額について

第1次入学手続時 納入金額 **290,000円** (※印の入学金のみ)

納入期限：2026年11月4日(水) (但し、本学出身者は0円)

第2次入学手続時 納入金額 **380,000円** (入学時納入金額より第1次納入金額を除いた額)

納入期限：2027年3月1日(月)

後期分学費等は、入学後、後期に納入してください。

なお、第2次入学手続時に後期分学費等を併せて納入することもできます。

2. 第2期合格者入学手続金納入について

2027年3月1日(月)までに一括納入となります。この際、後期分学費等を併せて納入することもできます。

3. 学費等の改定について

今後、経済情勢に応じ学費等の改定が行なわれた場合は、在學生にも改定後の学費等を適用することがあります。

4. 入学辞退について

本大学院の入学手続を完了した後(第1期合格者は第2次入学手続完了後)、やむを得ぬ事情により入学辞退することになった場合、入学金を除く納入金を返還いたします。詳しくは、合格者にお送りする「入学手続要項」をご覧ください。

5. 本学出身者の学費について

①入学金

本学大学院博士前期(修士・専門職学位)課程修了(見込含む)者は、全額免除

②施設設備料

本学大学院博士前期(修士・専門職学位)課程修了(見込含む)者は、全額免除

③校友会費

本学出身者は納入済みのため不要

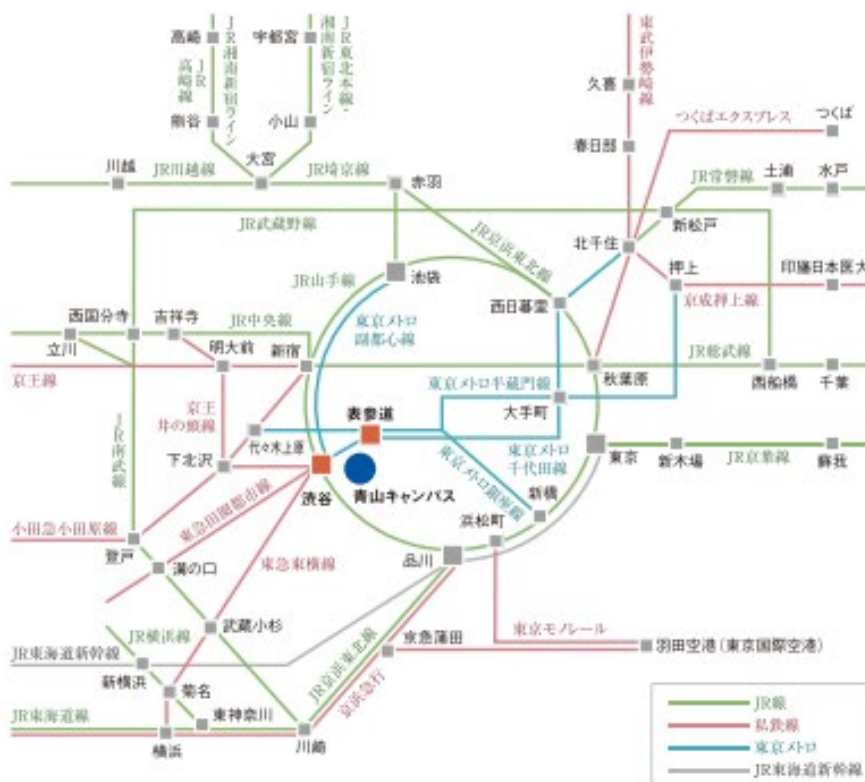
交通アクセス



青山キャンパス

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

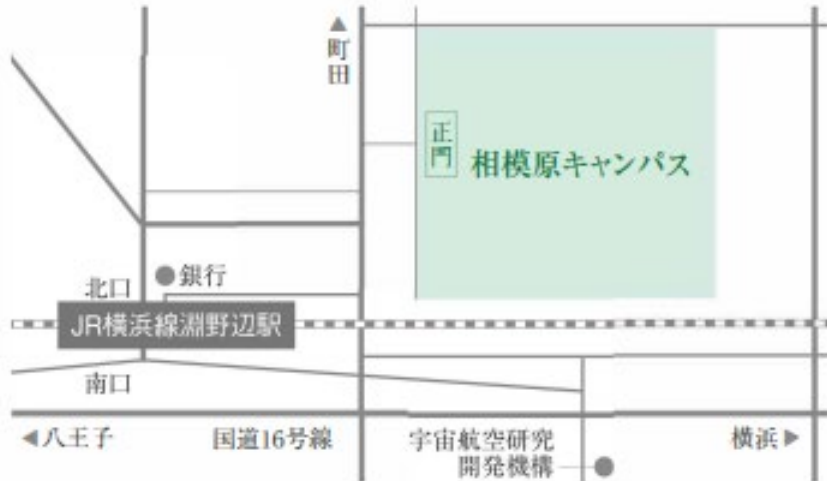
JR山手線、JR埼京線、東急線、京王井の頭線、東京メトロ副都心線 徒歩「渋谷駅」より徒歩10分
東京メトロ（銀座線・千代田線・半蔵門線）「表参道駅」より徒歩5分



相模原キャンパス

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1

JR横浜線「淵野辺駅」より徒歩7分



地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

青山学院大学大学院社会情報学研究科

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1

電話 042-759-6072 (ダイヤルイン)

氏名

受験番号 ※記入不要

◎下記すべての項目について必ず記入すること。(但し、論文を書いていない場合は題目の記入不要。)

卒業論文題目	
修士論文等題目	
学部における主な研究内容	
研究科における研究内容	
入学後の研究主題及び研究計画の概要	
若手研究者育成奨学金 (該当する方を○で囲む)	給付を希望する ・ 給付を希望しない
研究指導を希望する教員名 (要項に記載された教員1名)	<p>※教員と直接のやりとりが困難である場合には、特別に希望指導教員の承認がわかるものを同封することで署名・捺印に替えることも可。 その場合、教員名を必ず自身で記入すること。</p> <p>㊦</p>
修了後の進路希望(具体的に記入すること)	

2027 年度 社会情報学研究科博士後期課程（一般入学試験）

研究計画書

受験番号	※
------	---

※記入不要

フリガナ	
氏 名	

↓本文はここから書いてください

収納証明書 *コンビニエンスストア支払いもしくはクレジットカードでの支払い

貼付用紙

◎枠内を記入してください。

【入学検定料】

研究科		専攻	専攻
受験番号 (記入不要)		課程 ○で囲む	博士前期 ・ 博士後期
フリガナ		連絡先	()
氏名			

※連絡先には日中連絡が付きやすい電話番号を記入のこと

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、はがれないように全面のり付けしてください。

収納証明書 貼付欄

はがれないように全面のり付け
してください。

支払方法 (当てはまるものに○をつけてください)

- ・ コンビニ
- ・ クレジット

宛先記入ラベル

--	--	--	--	--	--	--

(住所)

(氏名)

様

研究科	コース

<注意事項>※ 宛先住所・氏名・志願研究科・コースを記入してください。
※ 宛先の「様」を「行」に訂正しないでください。

宛先記入ラベル

--	--	--	--	--	--	--

(住所)

(氏名)

様

研究科	コース

<注意事項>※ 宛先住所・氏名・志願研究科・コースを記入してください。
※ 宛先の「様」を「行」に訂正しないでください。

※ページ中央線で切り取り、ラベル部分のみご提出ください。

青山学院大学若手研究者育成奨学金

青山学院大学若手研究者育成奨学金は、青山学院大学大学院において、博士後期課程又は一貫制博士課程に優秀な学生を受け入れ、又は若い人材の本大学院への進学意欲若しくは本大学院に在学する学生の学修意欲を増進させ、もって本大学院の活性化を促進し、高度な専門性と研究能力を備えた社会に貢献する若手研究者の育成に資することを目的とする給付奨学金の制度です。 ※貸与奨学金ではありません。

奨学金概要

奨学金給付額

年間授業料相当額

給付方法

各学年の学費納付時において、年間授業料相当額の納付を免除 ※学費一部負担あり

給付期間

博士後期課程の標準修業年限

一貫制博士課程の3年次～5年次（3年間）

申請期間

各研究科の出願受付期間に準ずる

申請方法

入学志願票の所定欄に記入

採用者の決定

選考結果の通知 入学試験合否発表時

申請資格

2027年度以降において次の（1）～（3）のすべての条件を満たしている者

（1） 次のいずれかの条件を満たす者

- イ 本大学院の博士後期課程に入学する者
- ロ 本大学院の一貫制博士課程の3年次に編入学する者
- ハ 本大学院の一貫制博士課程に在学する者で、3年次に進級するもの
- ニ 本大学院の博士後期課程又は一貫制博士課程の3年次以上に転学する者

（2） 奨学金の給付を受ける初年度の初日の前日において、満30歳未満である者

（3） 国費留学生でない者

※「青山学院大学経済支援給付奨学金」「青山学院万代基金給付奨学金」等、他の学内給付奨学金との併給は不可です。

以上

青山学院大学若手研究者育成奨学金 申請書

_____年 ____月 ____日

1. 奨学金申請者 ※自筆、朱肉印で押印

フリガナ		印
氏名		

2. 給付希望確認欄

給付を希望	する ・ しない
-------	----------

※本申請書を出願書類に同封し送付してください。

* 大学記入欄	
---------	--

青山学院大学

簡易書留・速達料金分の切手を貼ってください。

速 達

2 5 2 - 5 2 5 8

神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1

青山学院大学相模原事務部学務課

社会情報学研究科担当 行

簡易書留

速達

「コース」「課程」「区分」「期別」は該当するものを○で囲んでください。

差 出 人	志 望	研究科	社会情報学
		専攻	社会情報学
		コース (博士前期課程のみ)	社会情報学・ヒューマンイノベーション
		課程	博士前期・博士後期
		区分	学内選抜・一般入試・社会人入試・科目等履修生試験
		期別	第一期・第二期・科目等履修生試験
住 所	〒	—	
		電話 ()	
氏 名	フリガナ		

《注意事項》

1. 出願書類は募集要項で確認し、漏れのないよう点検してからお送りください。
2. 郵便局窓口で簡易書留・速達扱いの手続きをして郵送してください。
3. 願書受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。